

大分教育事務所訪問②-35 (計108)

津久見市立第二中学校に学ぶ2 学校経営から学ぶ

本校の素晴らしい点は、育成を目指す資質・能力の3本柱をもとにチームをつくり、それぞれの重点目標について、各チームを中心に細かく分析を行い改善点や留意点を明確にしていることです。このようにチームの縦軸と学年部の横軸が絡み合うことで、協働的な実践がおこなわれつつあります。

今後、3つの柱を貫くような教科横断的な視点に立った資質・能力を学校全体で考えていくようなので、全職員で確認した「仲間づくり」を推進するために生徒達にどのような資質・能力を育成すれば良いかという視点で検討されてみてはいかがでしょうか。その際は、これまでの学力調査やアンケート等の客観的なデータや、学習指導要領の「総則」等を参考に協議されると良いと思います。

また、生徒達にも、「仲間づくり」のために日々の授業や学校生活において意識することを話し合い、実行、改善を繰り返し、成長を実感させてみてはいかがでしょうか。また、教職員の目標とリンクさせることで、生徒と共に創る授業につながると思いました。

※参考資料「中学校学習指導要領解説 総則編 pp.48-54 2教科等横断的な視点に立った資質・能力(例：ア：言語能力)」

授業から学ぶ

2年国語では、テンポ良くみんなが揃って音読ができていました。校長先生が助言をした生徒は次第に声も大きくなり、個に応じた助言の在り方を学びました。2年英語でのプレゼンのレベルは英語の内容だけでなくビジュアルも素晴らしいものでした。ICTの効果的な活用を学びました。ひかり学級では友達の意見について皆が反応する姿から温かさを感じました。1年生数学の学び合いや3年生保健の授業では、友達が発言した意見を否定せずに受け入れる姿が印象的でした。

今後は、指導案の「振り返り」においては、教師が願う具体的なゴールの姿を「生徒を主語」にしてより具体的に表現してみてはいかがでしょうか(教科によっては複数)。そして、互見授業等で教師が考えた「振り返り」と生徒が実際に書いたものとの違いから学んだり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について協議したりすることで、授業改善がより推進されると思いました。



NO.484 2021年11月 津久見市立第二中学校
良さを引き出す
「その考えはいいね。もっと教えて」質問は、相手の良さを引き出すためにある。



NO.482 2021年11月 津久見市立第二中学校
不易と流行
タブレットを使うとみんなの作品を見ることができる。そして、良いところを発見して友達に伝えたり、自分の考えと比較する。



NO.485 2021年11月 津久見市立第二中学校
声が消える
集中して調べているとき、自分の考えを整理しているとき、教室から声が消え、凜とする。



NO.483 2021年11月 津久見市立第二中学校
楽しいから
考えを発表する。友達の意見に反応する。笑顔がある。うなずく。楽しいことは心に残る。